

原稿

「あやかしでんわにごちゅうい！」 作者 森賀 美南

1 「あやかしでんわにごちゅうい！」

ア まもるくんのおばあちゃんのでんわは古い黒でんわ。

おばあちゃんは黒でんわでいつも楽しくおしゃべりします。

イ でも、今日は何やらようすがちがうようで…

ウ 「もしもし？もしもし？ 助けて！おばあちゃん！うわーん！」

エ 『まもるかいは？どうしたの？！何があったの？』

オ 「ぼく、悪いことをして、大変なことになっちゃった。うわーんうわーん！こんこーん！」

その正体はきつねでした。プツリでんわは切れてしまいました。

カ 「もしもし？学校の先生です。まもるくんが、帰り道に大変な悪さをしまして…」

キ 『そんな！まもるはそんな子ではないわ！でも、さっきのでんわは…。』

ク 「これからけいさつからでんわがあります。言う通りにすれば、きっとなんとかなります。ぼんぽこ！」

その正体はたぬきでした。プツリ、でんわは切れてしまいました。

ケ 『もしもし？けいさつです。あなたはまもるくんのおばあさまですか？じけんについてお話があります。』

コ 『そうです。わたしはいったいどうしたらいいのかしら…。』

サ 「この問題をすぐにかいけつするにはお金が必要です。すぐに100万円を用意してくださいワン。」

その正体は犬でした。きつねとたぬきと犬、みんなでおばあちゃんをだまそうとしていたのです。

シ そうとも知らないおばあちゃんはあわてて銀行の通ちょうとさいふを用意します。

「お金より何よりもるが一番の宝物。早く助けなくちゃ！」

ス 「おばあちゃん、ただいま！」そこには元気な本物のまもるくんがいました。

おばあちゃんはだまされていたことに気が付き、ほっと一安心。

「まもるが無事で良かった。あわてないで、まずは家族にそうだんしよう。」

おばあちゃんとまもるくんは楽しくでんわをするために、ひみつの合言葉を決めました。

セ 合言葉は「おばあちゃんのこと、大好きだよ！」